

2024 年 3 月 24 日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒501 番（SK 姉）

『わがため傷つき』

聖書⇒マタイによる福音書 26 章 36~39 節（KH 姉）

『それから、イエスは弟子たちと一緒にゲツセマネという所に来て、「わたしが向こうへ行って祈っている間、ここに座っていなさい」と言われた。ペトロおよびゼベダイの子二人を伴われたが、そのとき、悲しみもだえ始められた。そして、彼らに言われた。「わたしは死ぬばかりに悲しい。ここを離れず、わたしと共に目を覚ましていなさい。」少し進んで行って、うつ伏せになり、祈って言われた。「父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願いどおりではなく、御心のままに。』』

礼拝讃美歌⇒456 番（旧 200 番）

『カルバリ山の十字架』

聖書⇒イザヤ書 41 章 9~10 節（TM 兄）

『わたしはあなたを固くとらえ／地の果て、その隅々から呼び出して言った。

あなたはわたしの僕／わたしはあなたを選び、決して見捨てない。

恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。たじろぐな、わたしはあなたの神。

勢いを与えてあなたを助け／わたしの救いの右の手であなたを支える。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 14 章 13~14 節

『わたしの名によって願うことは、何でもかなえてあげよう。こうして、父は子によって栄光をお受けになる。

わたしの名によってわたしに何かを願うならば、わたしがかなえてあげよう。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 15 章 7、5 節

『あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたの内にいつもあるならば、望むものを何でも願いなさい。そうすればかなえられる。』

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。』

(祈)

讃美歌 (KH 兄)

『神の独り子が死んだ時』

聖書⇒マタイによる福音書 9 章 35~36 節 (ES 姉)

『イエスは町や村を残らず回って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、ありとあらゆる病気や患いをいやされた。また、群衆が飼い主のいない羊のように弱り果て、打ちひしがれているのを見て、深く憐れまれた。』

(祈)

《パン裂き》

聖書⇒ルカによる福音書 22 章 14~20 節 (KH 兄)

『時刻になったので、イエスは食事の席に着かれたが、使徒たちも一緒だった。イエスは言われた。「**苦しみを受ける前に、あなたがたと共にこの過越の食事をしたいと、わたしは切に願っていた。**言っておくが、神の国で過越が成し遂げられるまで、わたしは決してこの過越の食事をとることはない。」そして、イエスは杯を取り上げ、感謝の祈りを唱えてから言われた。「これを取り、互いに回して飲みなさい。言っておくが、神の国が来るまで、わたしは今後ぶどうの実から作ったものを飲むことは決してあるまい。」それから、イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えて、それを裂き、使徒たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられるわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい。」食事を終えてから、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による新しい契約である。』

(式)

礼拝讃美歌⇒146 番 (旧 61 番)

『小羊の血にて』

《建徳》

聖書⇒マタイによる福音書 21 章 1~11 節 (KH 兄)

『一行がエルサレムに近づいて、オリーブ山沿いのベトファゲに来たとき、イエスは二人の弟子を使いに出そうとして、言われた。「向こうの村へ行きなさい。するとすぐ、ろばが見つからないであり、一緒に子ろばのいるのが見つかる。それをほどいて、わたしのところに引いて来なさい。もし、だれかが何か言ったら、『主がお入り用なのです』と言いなさい。すぐ渡してくれる。」

それは、預言者を通して言われていたことが実現するためであった。

「シオンの娘に告げよ。『見よ、お前の王がお前のところにおいでになる、／

柔かな方で、ろばに乗り、／荷を負うろばの子、子ろばに乗って。』

弟子たちは行って、イエスが命じられたとおりにし、ろばと子ろばを引いて来て、その上に服をかけると、イエスはそれにお乗りになった。大勢の群衆が自分の服を道に敷き、また、ほかの人々は木の枝を切って道に敷いた。そして群衆は、イエスの前を行く者も後に従う者も叫んだ。「ダビデの子にホサナ。主の名によって来られる方に、祝福があるように。いと高きところにホサナ。」イエスがエルサレムに入られると、都中の者が、「いったい、これはどういう人だ」と言って騒いだ。そこで群衆は、「この方は、ガリラヤのナザレから出た預言者イエスだ」と言った。』

聖書⇒ゼカリヤ書 9 章 9~10 節

『娘シオンよ、大いに踊れ。娘エルサレムよ、歓呼の声をあげよ。

見よ、あなたの王が来る。彼は神に従い、勝利を与えられた者／高ぶることなく、ろばに乗って来る／雌ろばの子であるろばに乗って。

わたしはエフライムから戦車を／エルサレムから軍馬を絶つ。

戦いの弓は絶たれ／諸国の民に平和が告げられる。

彼の支配は海から海へ／大河から地の果てにまで及ぶ。』

礼拝讃美歌⇒208 番 (旧 301 番) (KH 兄)

『汚れと争いは』

聖書⇒詩編 50 編 15 節

『それから、わたしを呼ぶがよい。苦難の日、わたしはお前を救おう。
そのことによって／お前はわたしの栄光を輝かすであろう。』 (新共同訳)

『悩みの日にわたしを呼べ、わたしはあなたを助け、／
あなたはわたしをあがめるであろう。』 (口語訳)

『なやみの日にわれをよべ我なんぢを援けん而してなんぢ我をあがむべし』（文語訳）

礼拝讃美歌⇒427 番（SK 姉）

『われに來よと主は今』

《建徳要旨》